

災害に備えて

6月は土砂災害防止月間

梅雨時期を迎え、大雨や長雨による土砂災害や水害が発生しやすくなります。こうした災害に備え、雨量や土砂災害の前ぶれに注意し、避難方法や避難場所を確認するなど「自分の安全は自分で守る」という気持ちで、日ごろから準備しておくことが大切です。

日ごろの備え

天気予報や気象状況に気をつけましょう

梅雨時期、台風シーズンなど、洪水が起りやすい時期には、特に、テレビやラジオなどの天気予報に注意しましょう。

他にも、次のような手段で情報を入手できます。

●防災無線テレホンサービス

須恵町では防災行政無線放送による緊急時(災害時)放送および定時放送を聞き逃した人のために、電話(フリーダイヤル)で放送内容を確認できます。

☎0120-8940-55

●町のホームページ
町内で避難勧告や避難指示が発表されるときは、ホームページでも確認することができます。

●防災メール配信システム

福岡県が提供する防災情報などのメール配信システムです。携帯電話やパソコンに、防災に関する情報や地域の安全情報などをお知らせします。

詳しくは、防災メール「まもるくん」のホームページ(左記URL)をご覧ください。

<http://www.bousai.pref.fukuoka.jp/manorukun/>

台風に備え、家のまわりの点検をしましょう

家の周りに吹き飛ばされそうなものはないか、雨戸や雨どいは傷んでいないか確認しておきましょう。

非常食や持ち出すものを準備しましょう

非常食には、調理の手間がかからず、

水もあまり使用しないもの(レトルト食品や缶詰など)を選びます。また、懐中電灯やラジオ、乾電池も忘れずに用意しておきましょう。

避難場所を確認しておきましょう

災害時に、自宅からの避難が必要な場合は、避難所へ避難します。お住まいの地域に避難勧告などが発令された場合に備えて、避難場所と避難経路を確認しておきましょう。

須恵町防災ハザードマップを活用しましょう

須恵町防災ハザードマップには、災害の危険箇所や災害から身を守るための情報が掲載されています。役場ロビーや総務課窓口にも備え付けていますので、ぜひご覧ください。また、須恵町ホームページ(左記URL)で見えることもできますので、確認をお願いします。

<https://www.town.sue.fukuoka.jp/soshiki/1/bousaihaza-domappu.html>



避難時の心得

集団で行動しましょう

単独での行動は避け、できるだけ近所の人たちと集団で指定された場所へ避難しましょう。緊急時は、家族や隣近所、地域みんなで助け合いましょう。



浸水した道路を通る場合は注意しましょう

極力、浸水している道を通っての避難はやめましょう。やむを得ず浸水している道を通るときは、杖のような棒を持って、足元が大丈夫か確認しながら避難しましょう。子どもはロープなどで、体を結んで避難しましょう。

●気象警報の種類と発令のタイミング

種類	発表される時
大雨注意報・洪水注意報	大雨による災害の起こるおそれがあるとき 洪水による災害の起こるおそれがあるとき
大雨警報・洪水警報	大雨による重大な災害の起こるおそれがあるとき 洪水による重大な災害の起こるおそれがあるとき
記録的短時間大雨注意報	数年に一度しか発生しないような短時間の大雨を観測したとき
大雨特別警報	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量になる大雨が予想される時 数十年に一度の温帯低気圧により大雨になると予想される時

※大雨により、土砂災害発生危険が高まった時に発表されます。

●須恵町指定避難所一覧

施設名称	使用条件	
	水害	地震
須恵第一小学校	●	
須恵第二小学校	●	●
須恵第三小学校	●	●
須恵中学校	●	●
須恵高校	●	
アザレアホール須恵	●	●
地域活性化センター(オイコス)	●	●
健康広場	●	●
あおば会館	●	
佐谷集落センター	●	
上須恵クラフト館	●	
川子地区公民館	●	
一番田区公民館	●	
城山防災会館	●	
乙植木コミュニティセンター	●	
西部地域防災センター	●	
西体育館	●	
山の神区公民館	●	
旭ヶ丘区公民館	●	
新原公民館	●	

●避難情報とそのときとるべき行動

小 災害による人的被害が発生する可能性 大

●避難準備情報

高齢者、子ども、障がいがある人など、避難に時間を要する人は、早めに自主的な避難行動を開始してください。

●避難勧告

指定された避難所へ避難行動を開始してください。

●避難指示

まだ避難していない住民は、ただちに避難行動を開始してください。

ただし…

避難とは、災害などを避けて安全な場所へ移ることであり、避難場所に行くことだけが避難ではありません。暗くなつて周りが良く見えない状況での徒歩による避難や、すでに増水している川の近くを通つて避難することは大変危険です。状況によっては自宅の2階や近くの頑丈な建物に避難する方が安全な場合もあります。適切な避難をしましょう。

危険が迫ったら、命を守る最低限の行動をとってください！